

# 『Mind Charging』

第 221 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 2 月 25 日

## ターシャ・テューダーの名言



私は二つの人生を生きているみたい。  
ここで暮らす、ただのおばあちゃんの私と、  
みんなが素晴らしいと憧れるターシャ・テューダーと。  
それでいいの。これからも両方続いてほしいわ。

この言葉を読んだ時、自分にもある『二つの顔』について考えました。工作中的の顔とプライベートの顔です。常に“素”でいられることが精神衛生上望ましいとは思いますが、これはあくまで私個人の感覚ですが、私は必ずしもそれがベストとは思いません。例えば学校でしか見せない顔や家でしか見せない顔があってもいいと思っています。

様々な環境下で成長してきた人たちが共存しているわけですから、『価値観(判断基準)』もそれぞれ違います。その中で自分の価値観だけを貫いて過ごすことは不可能です。『常に素でいられるということってそういうことなのかもしれない・・・』と考えると、それは押しつけですからベストどころか“意味がないこと”だと思います。『常識(ルール)』や思考そのものが変わってきている現代において、人の『本音を読み取る』という作業は非常に難しいことですが、せめて“辛いのに笑顔でいる人”には気づいてあげたいものです。意図的にしている場合もありますが、それに対する具体的なサポートや距離感の見極めも含め、コミュニケーションを大切にしながら『思いを尊重する』ことの大切さを彼女は伝えたかったのだと思います。『みんなの中の自分』を考えた上で素敵なライフスタイルを確立していきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ターシャ・テューダー(Tasha Tudor、1915年8月28日 - 2008年6月18日)はアメリカの絵本画家・挿絵画家・園芸家(ガーデナー)・人形作家である。彼女の描く絵は「アメリカ人の心を表現する」絵と言われ、クリスマスカードや感謝祭、ホワイトハウスのポスターによく使われている。50歳代半ばよりバーモント州の小さな町のはずれで自給自足の一人暮らしを始め1800年代の農村の生活に学び、彼女の住む広大な庭で季節の花々を育て続けるライフ・スタイルは、日本でも注目を浴びた。(Wikipedia 参照)